



ソレイユニュースレター 発行日:平成30年10月15日 発行部数:1100部 発行人:石井 トシ子 編集製作:研究情報委員会  
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内)

## ありのままの自分で生きる～LGBTsを知ろう～



性的マイノリティのカテゴリーを表す言葉の一つとして「LGBT」があります。「L=レズビアン」「G=ゲイ」「B=バイセクシャル」「T=トランスジェンダー」ほかにも、性的な関係を求めない無性愛者や性自認を男女のいずれかとは認識していない「X(エックス)ジェンダー」など、様々なセクシュアリティが存在します。また、LGBTの4つではないが性や恋愛に関するいろいろなこと表すため、sを付ける場合もあります。

ソレイユさがみでは、登録団体「LGBTs 支援団体設立準備組織」とともに講座を開催しています。

今年度は3区でそれぞれ講座を開催します。お申込みは、ソレイユさがみ 042-775-1775 まで。

1 回ごとのお申込みもできます。お気軽にどうぞ！

### 第1回 緑区

「あなたはあなた。私は私。～臨床心理士が伝える本当の理解とは～」

9月29日(土) 14時～16時

会場:ソレイユさがみ セミナールーム 定員:10名

講師:大賀 一樹さん(臨床心理士)

1988年、鳥根県生まれ。幼い頃から自身の性別に違和感を覚え、20歳のときに「Xジェンダー」という言葉を知り、自らのセクシュアリティを認識する。LGBTQを含む包括的支援、性の多様性教育の可視化を行うべく、講師・講演活動に取り組んでいる。



### 第2回 中央区

「戸惑わないためのLGBT」

10月27日(土) 19時～21時

会場:市民会館講習室 定員:30名

講師:依田 花蓮さん(行政書士)

1972年、愛知県に男性として生を受ける。36歳の時に女性として生きていくことを決意し手術、戸籍性別取扱いの変更を行う。歌、踊り、芝居のエンターティナーとして舞台に立ちながら、現在は行政書士として事務所を営む。LGBTの理解が深まるよう講演活動なども実施している。



### 第3回 南区

「いろんな人が共生する社会は、ラクで、強く、やさしい社会」

11月22日(木) 19時～21時

会場:ユニコムプラザ セミナールーム2 定員:80名

講師:歌川 たいじさん(小説家、漫画家、エッセイスト)

1966年、東京都に生まれる。本年11月16日に、氏の原作による映画「お母さんがどんなに僕を嫌いでも」が全国公開される。原作の歌川たいじさんをお迎えし、ライフストーリーなど、ご本人からお話を聞いてみよう！



## DV 防止イベント

「#love 世界で一番幸せな恋愛をするために」

毎年、11月12日～11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

今年度のソレイユさがみ DV（ドメスティック・バイオレンス）防止イベントは、桜美林大学との共催で11月16日（金）に開催します。サービスラーニングの科目を履修している学生が企画、運営に参画し、学生が参加しやすいタイトルを考えてくれました。

これから多く恋愛をするであろう大学生を主たる対象とし、相手を尊重しながらも自分らしくいられる恋愛とはどのようなものなのか、またそのような恋愛に必要なことは何かを考えることを目的としています。



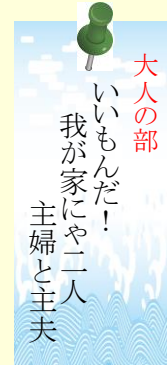
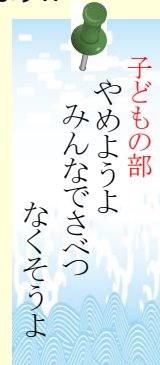
おしらせ

## 男女共同参画川柳

### コンテスト 2018

作品募集10/20(土)まで！  
来館者投票11/5(月)～  
12/7(金)まで！

9月1日（土）～10月20日（土）まで募集しています男女共同参画川柳を、一次審査を経て、11月5日（月）～12月7日（金）ソレイユさがみで展示し来館者による投票や各地域でのイベント会場での投票を行ないます。その投票結果と男女共同参画を推進している方々の最終審査により、グランプリ、準グランプリの入賞者を決定致します。皆様、ぜひ来館の折にはご覧いただき、お気に入りの川柳に投票をお願い致します!!



こちらは昨年の  
グランプリ作品です。

## トピックス

桜美林大学生の皆さんは、「地域社会参加（性別で差別しない社会）」というサービスラーニングの科目の中で、大学での授業のほかに、地域での活動があります。その地域活動の時間を使って、ソレイユさがみブックレビュー臨時号の作成をしてもらうことになりました。図書は、「ジェンダー」に関連のあるものを選書し、紹介文を書いてもらいます。若い世代の方が、ジェンダーに関することに興味を持ち、若い視点からのレビューになることを期待しています。



## ソレイユさがみ登録団体 PR コーナー

### NPO 法人かながわ女性会議県央地区 宮崎 紀美子



男女が共にいきいきと生きられる「男女共同参画社会」の実現に向けて県内全域をベースに活動をしています。違いを認め合い、平等で平和な活力ある社会を目指して県下の女性がともに協力し、また県および県内市町村と連携しながら誰でもが充実した人生が過ごせるよう「人づくり・社会づくり」に取り組んでいます。近年は「女性の目を見た防災」を講演や寸劇を通して参加者と課題を共有したり、「ワークライフバランス」のアンケート調査をもとにワークショップを開催 M 字カーブ解消に向けた取り組みを行なっています。

### 相雪スキークラブ 代表 佐藤 泰成

かつてスキーブームで誰もがスキー場へ足を運んでいた時代よりも前の、昭和 36 年に結成され、今でもこよなくスキーを愛するクラブ員が男女約 100 名おり、子どもから昭和一桁の方まで一年を通して家族的なクラブ行事を楽しむと共に、相模原市のスキー協会に加盟し、協会の行事にも積極的に参加しています。クラブ員には全日本スキー連盟公認の指導員資格を有する者も多く、基礎スキー技術の向上を目指す方を身近で指導し、競技スキーも相模原市民選手権や協会主催のクラブ対抗スキー大会に参加し、様々なスキーを楽しんでいます。



### 編集後記



今年の「十三夜」=「後の月」は 10 月 21 日です。古来から先人たちは、9 月 24 日の十五夜の美しい月をしっかり鑑賞したあと、さらにこの「後の月」の美しい月も同様に愛でてきたのです。今号は LGBTs の理解が深まるように、市内各区での講座をご案内しています。お月さまのように、まあ～るく、まあ～るく、誰もが暮らしやすい社会でありたいものです。 (湯田・関口)